

〈PTA全体委員会（7月11日）報告〉

■ [平校長\(PTA名誉会長\)より学内報告 1](#)

■ [木村PTA会長より挨拶 2](#)

■ [父母の会活動報告 3](#)

■ [分科委員会 3](#)

- └ 総務委員会
- └ 新聞委員会
- └ 会報委員会
- └ PTA活動推進委員会
- └ 行事委員会

■ [編集後記 6](#)



平校長(PTA名誉会長)より学内報告

麻布学園PTA役員の皆さん、こんにちは。梅雨明けが待たれる今日この頃ですがいかがお過ごしでしょうか。先日、第1学期末試験が終了し、生徒は少しゆったりした気持ちで部活動に参加したり、家で過ごしたりしているのではないのでしょうか。終業式までのこの期間を以前は「試験休み」と呼んでいましたが、「休み」という呼称は誤解を与えかねないということで、今は「採点・補習・補講期間」と呼んでいます。今、先生方は数百枚の答案の採点に取り組んで四苦八苦していますが、点数が著しく低かった生徒に対しては「呼び出し」連絡があるかもしれません。教科担当から連絡があった場合にはその指示に従ってください。また、中学は15日が「答案返却日」という登校日となっていてクラスごとに時間割が組まれ、答案が返され、解説も行われます。ぜひ、試験で明確になった自身の弱点の克服に取り組んでほしいと思います。

18日の終業式を過ぎれば待ちに待った夏休みです。生徒諸君はご家族で旅行したり、クラブ合宿に参加したり、自身の趣味に没頭したりと有意義に過ごせば良いですね。高校3年生の諸君はすでに夏期講習が始まっていますが、しっかりと体調を管理して暑い夏を乗り切り、進学に向けた勉学にベストを尽くしてほしいです。

去る4日には高校野球選手権東京大会が開幕しました。本校は明日12日、明治神宮野球場で新宿の海城高校と対戦します。朝8時30分のプレーボールです。高校3年生の諸君も最後の夏の大会ということで張り切っています。ぜひ多くの皆さまに応援に駆けつけていただきたいと思います。

また、8月16日は夜7時から、赤坂のサントリーホール大ホールで今夏も麻布学園OB+オーケストラの公演が行われます。2000年本校卒業の鈴木優人さんの指揮でベートーベンの第9の演奏ほかが行われます。終業式の日、生徒諸君に案内のチラシを配布しますので、もし、よろしければご参加ください。公演の最後には本校の応援歌、校歌を会場の全員で歌うことになっています。

今年も暑い夏が予想されていますが、皆さま方にとって良き思い出の残る夏休みとなることを願っております。

(※2026.7.11記載)

木村PTA会長より挨拶

昨年に比べると過ごしやすく感じられた6月でしたが、7月に入り厳しい暑さが続いております。保護者や教員の皆さまにおかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。早くも1学期が終わり、夏休みを迎えようとしております。皆さまが心身ともに健やかにお過ごしになるとともに、麻布生一人ひとりがこの暑さに負けないくらい濃密で有意義な夏を過ごしてくれることを願っております。

さて、私事で恐縮ですが、先日、1995年麻布高校卒業の同期会が学校の「地下食」をお借りして開催されました。卒業以来初めて80名を超える同期が母校に集まり、平校長、氷上前校長をはじめ現役・OB教員6名の先生方にもご参加いただきました。私もPTA会長として同期を代表し、乾杯の挨拶をさせていただきました。さすがに見た目は、皆それなりに年相応になっていましたが、心は麻布生だったあの当時のまま。大いに語り、校歌やサンタルチアを高らかに(?)歌いました。また、寄付の呼びかけにも多くの同期が応じ、当日だけで24万円の寄付が集まりました。この場をお借りしてご報告申し上げます。皆さまのご子息方も、何年後、何十年後になるかわかりませんが、いつの日か再び麻布に集い、恩師や同期と大いに語り合い、大いに歌い合うことでしょう。その時も「やっぱり麻布っていいよな」と思える場所であり続けてほしいと思います。

こうした卒業生の話をすると、「PTA会長は麻布OBしかねないのではないか」と思われる方がいるかもしれません。しかし、そのようなことはありません。前任のPTA会長、私とたまたまOBが続いていますが、その前の方々はOBではありませんでしたし、女性のPTA会長もいらっしゃいました。9月に入り、夏休みが明けると、次期PTA会長の立候補・推薦の募集が始まります。正直なところ、私もPTA会長就任前は「自分に務まるだろうか」と不安でした。それでも、これまでを振り返ると、多くの教員や保護者の皆様に支えていただきながら、非常に貴重な経験をさせていただいていると感じております。OBかどうか、男性か女性かは関係ありません。麻布を大切に思い、教員や保護者の皆さまと信頼関係を築きながら、麻布PTAを担ってくださる方をお待ちしております。

父母の会 活動報告

6月6日(土)明治学院高等学校にて、令和8年度父母の会第二支部「定期総会」及び「懇親会」が開催され、この場をもちまして新旧委員が交代いたしました。

6月半ばより、9月に予定されております「私学振興拡充大会」の準備が始まっています。今年度も中1保護者の皆様から34名の参加者を選出いただき、拡充大会にご参加いただくこととなりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

今後とも、国や都へ私学に対する公費負担の拡充を求めていく父母の会活動につき、ご周知いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

分科委員会

総務委員会（PTA総会およびPTA全般の活動支援）

総務委員会では、PTA活動に必要な備品が使いやすくなるように、使用ルールの策定などを進めています。

また、12月5日に開催予定のPTA全体交流会の企画・準備を始めていきます。PTA委員皆様に楽しんでいただける会にしたいと思いますので、是非おたのしみに。

分科委員会

新聞委員会 （年3回発行の「麻布PTA」の編集・発行）

おかげさまで、PTA新聞第1号の印刷が終わり、配布準備も完了しました。

文化祭を陰で支えた裏方の生徒たちにもスポットライトを当てて、写真もふんだんに載せております。また載せきれなかった写真を電子的にご覧いただけるようにしております（QRコードから読み込み）。7月18日の終業式で配布されますので、是非ご家族でご覧くださいませ。

会報委員会 （年度末発行のPTA会報誌の編集・発行）

日々暑さが強まる季節となりましたが、会報委員会各チームの制作も徐々に熱を帯びてまいりました。

寄稿班には、今年度のテーマ『脱』のもとに多くの寄稿エントリーをいただいております。今年度は、例年以上に数多くの麻布生からの寄稿文をお届けできる予定です。

特集班では、麻布生・OB・教員を3本柱として、取材や座談会を通して、多彩な切り口で麻布を読み解いてまいります。

また、今年度は新しい試みとして、グラビア写真の生徒公募を実施いたしております。保護者が目にする機会の少ない、麻布学園での生徒の様子、部活動や合宿、国際交流などの様子をお届けできるよう、尽力しております。

皆様のご協力を仰ぎ、皆様に楽しんでいただける会報誌を目指してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

分科委員会

PTA活動推進委員会（学園サイト内PTAページ管理運営、次期会長候補の選考）

麻布学園webサイトへのPTA関連の記事の掲載を、順次行なっております。

二学期にはPTA会長選を予定しております。

9月から立候補・推薦の受付を開始いたしますので、「やってみようかな」と思われる方や、「この方をお願いしたい」という方がいらっしゃいましたら、ぜひご協力をお願いいたします。

行事委員会（文化活動の企画・運営）

行事委員会から各行事についての進捗をご報告します。

①麻の葉セミナー：11月21日（土）開催予定

ゲスト：本校OB・漫画家の辻次夕日郎さん

校内のポスター掲示、参加申込については、9月中旬以降にご案内予定です。

②ファミリーコンサート：2月20日（土）開催予定

9月7～30日まで、参加者募集を行います。

参加者募集のお知らせチラシは、学内掲示と中一から高二までの各教室掲示、各クラス保護者ラインで行います。

③リサイクル品販売会：2月開催予定

リサイクル品回収日：11月の保護者会当日（11月14日）を予定しています。

皆様のご協力をお願いします。

編集後記

2026年度第2回目のPTA通信をご覧になっていただき、ありがとうございます。

期末テストも終了し、1学期も残すところ答案返却と終業式を残すのみとなりました。採点補習補講期間中、ご子息はどのようにお過ごしでしょうか。保護者としてもようやく毎朝のお弁当生活が一区切りでほっとしているのではないのでしょうか。本学園でのお昼事情は学内の学食に加え、第二の学食と言われるコンビニも近辺にあり、お昼事情には困らない環境に恵まれていてありがたいと思う中、息子に学校生活で最も楽しみな時間を尋ねると、「お弁当の時間」とのこと。単純に嬉しくなるとともに、その言葉に支えられてこちらも毎日がんばってこれたような気がします。

先日「衣・食・住」についての疑問を目にする機会がありました。「衣」は既製服を購入し、「住」は専門家によって建てられた住居で暮らすことが一般的となる中、「食」だけは現代でも各家庭で日々準備され、時間と手間をかけ、ある意味で原始的なのはなぜなのか。もちろん外食などの選択肢は広がっていますが、便利な時代になった今もなお、「食」は家庭文化として存在している気がしてとても興味深いです。

中国の古典には「民は食をもって天となす」という言葉があります。人々にとって食は何にも変えがたい大切なものであり、暮らしの土台そのものであるという意味の言葉です。実際食べることは人間の三大欲求の一つでもあり、生きていくために欠かせない要素ですが、生命を維持することのみではなく、人と人との繋がりを育む役割も実は大きいのではないかと感じています。自分自身、ついスマホをずっと見がちなのでなかなか子どもにも注意できないのですが、食事の時はそっと携帯を置いて、その日にあった出来事や何気ない会話で、思い出を積み重ねていきたいものです。

子どもたちが成長するにつれ、部活動や友人との時間が増え、気付けば家族が顔を合わせる機会は少しずつ減っていきます。（もうすでにあまり姿を見ないなんてことも聞いたりしますよね..!）子どもが子どもでいてくれる時間には限りがあるからこそ、何気ない時間を慈しみながら、親子で過ごせる今この時を大切にしていきたいと思います。もっとも、そんなことを考えながらも、今日もだらだらと過ごす息子の姿に何度も小言をいうことになるのでしょうか。そんな日常のやりとりもまた、今だけの大切な時間なのかもしれません。